豊原国周生誕190年　歌舞伎を描く　静嘉堂秘蔵の浮世絵初公開！

展示会期：令和8年9月19日(土)～11月8日(日)
前期 9月19日～10月12日／10月14日～11月8日
[会場]富山県水墨美術館

※前期と後期で大幅な展示替えを行います／展示キャプション内の番号は「図録No.」と対応します／通番及び図録No.は展示順とは一致しません／展示期間や展示作品数は変更することがあります

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
第１章　　歌舞伎絵の流れ								
1	1		歌舞伎図屏風	紙本金地着色		江戸時代前期　17 世紀	◎	◎
2	2	二代鳥居清倍	二世市川団十郎の佐野源左衛門、松本幸四郎の青砥左衛門、山下金作の佐野女房難波津	細判漆絵	伊賀屋勘右衛門	享保8 年（1723）	○	
3	3	二代鳥居清倍	荻野伊三郎の石部金吉、早川新勝	細判漆絵	鱗形屋孫兵衛	享保12 年（1727）頃	○	
4	4	二代鳥居清倍	富沢門太郎、八世市村羽左衛門	細判漆絵	村田屋治郎兵衛	享保（1716-36）前期		○
5	5	二代鳥居清倍	二世市川団十郎の矢の根五郎	細判漆絵	伊賀屋勘右衛門	享保14 年（1729）		○
6	6	西村重長	那須与一と官女玉虫	細判漆絵二枚揃	鱗形屋孫兵衛	享保期（1716-36）		○
7	7	奥村政信	芝居狂言浮絵根元	大大判墨摺筆彩	奥村源六	宝暦6 年（1756）	○	
8	8	二代鳥居清信	三世沢村小伝次の奴与勘平	細判紅摺絵	江見屋吉右衛門	宝暦（1751-64）後期	○	
9	9	二代鳥居清信	中村粂太郎、中村七三郎	細判紅摺絵	鱗形屋孫兵衛	宝暦期（1751-64）		○
10	10	北尾重政	二世市川八百蔵の奴てる平	細判紅摺絵	松村弥兵衛	明和3-5 年（1766-68）頃		○
11	11	北尾重政	二世市川高麗蔵の本朝綱五郎と中村松江の傾城高円	細判紅摺絵	丸屋甚八	明和4 年（1767）	○	
12	12	北尾政演（山東京伝）	三世瀬川菊之丞の村萩妹こはぎ	細判錦絵	川清	安永（1772-81）後期	○	
13	13	勝川春泉	三世大谷広次の三浦弾正義村と四世松本幸四郎の佐野源左衛門常世	細判錦絵二枚続	版元未詳	天明7 年（1787）		○
14	14	鳥居清長	三世沢村宗十郎の小松重盛、中山小十郎の八丁礫喜平次、三世大谷広次の三浦荒次郎、三世市川八百蔵の悪源太義平	大判錦絵	高津屋伊助	天明5 年（1785）	○	
15	15	鳥居清長	三桝徳次郎の夕霧、四世松本幸四郎の藤屋伊左衛門	大判錦絵	西村屋与八	天明4 年（1784）		○
16	16	鳥居清長	四世松本幸四郎の東の与四郎、中村仲蔵の浪花の次郎作、松本米三郎の禿たより	大判錦絵	西村屋与八	天明8 年（1788）	○	
17	17	葛飾北斎	忠臣蔵討ち入り	大判錦絵三枚続	西村屋与八	天明期（1781-89）		○
18	23	勝川春好	五世市川団十郎の暫	大判錦絵	版元未詳	天明8-寛政2（1788-90）頃		○
19	24	勝川春好	四世岩井半四郎の白拍子、実はおしづ亡魂、五世市川団十郎のせいたか坊、三世大谷広次のこんがら坊	間判錦絵	版元未詳	寛政2年（1790）	○	
20	25	歌川国政	市川男女蔵の順礼大助実は孔雀三郎	大判錦絵	山口屋忠助	寛政8年（1796）	○	
21	26	歌川国政	尾上栄三郎の曾我五郎	大判錦絵	上村与兵衛	享和3年（1803）	○	
22	27	歌川国政	沢村源之助の曾我十郎	大判錦絵	上村与兵衛	享和3年（1803）		○
23	28	歌川国政	岩井粂三郎の十六夜ヵ	大判錦絵	上村与兵衛	享和3年（1803）		○
24	29	歌川豊国	沢村源之助の十郎祐成、尾上栄三郎の五郎時宗	大判錦絵	版元未詳	文化期（1804-18）	○	
25	30	勝川春英	仮名手本忠臣蔵　九段目	大判錦絵	伊勢孫	文化4年（1807）	○	
26	31	歌川国貞	七世市川団十郎の菅丞相、五世瀬川菊之丞の梅王丸	色紙判摺物二枚続		天保2年（1831）		○
27	18	栄松斎長喜	難波屋店先	間判錦絵三枚続	蔦屋重三郎	寛政4-5年（1792-93）頃	○	
28	19	喜多川歌麿	七福神汐干狩	大判錦絵三枚続	蔦屋重三郎	寛政期（1789-1801）		○
29	20	栄松斎長喜	井筒中居かん　芸子あふきやふせや	大判錦絵	蔦屋重三郎	寛政（1789-1801）中期		○
30	21	東南西北雲	五世岩井半四郎	大判錦絵	蔦屋重三郎	文化（1804-18）前期	○	
31	22		蔦屋重三郎墓碑拓本				◎	◎
第２章　　珠玉の錦絵帖								
32	32	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」五世市川海老蔵（白猿）の角太郎が父赤岩一角	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）10月	○	
33	33	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」三世嵐吉三郎の犬飼現八信道	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）9月	○	
34	富-10	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」三世関三十郎の籠山逸藤太	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月	○	

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
35	富-11	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」坂東三津右衛門の赤岩牙次郎	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月	○	
36	34	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」五世松本幸四郎の馬加大記常武	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）10月	○	
37	35	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」三世岩井粂三郎の舞子朝毛野実ハ犬坂毛野胤智	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）10月	○	
38	36	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」岩井杜若の犬江親兵衛仁	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）9月		○
39	37	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」五世瀬川菊之丞の尼妙椿	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月		○
40	富-20	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」四世坂東彦三郎の浪四郎	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月		○
41	富-21	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」片岡市蔵の船頭梶九郎	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月		○
42	38	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」三世嵐音八の蚊牛和尚	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月		○
43	39	二代歌川国貞	「八犬伝犬の草紙」三世藤川花友の飛鳥	大判錦絵揃物	蔦屋吉蔵	嘉永5年（1852）12月		○
44	40	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」四世中村芝翫の将軍太郎良門	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）11月		○
45	41	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」中村福助の袴垂保輔	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	安政6年（1859）10月		○
46	42	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」五世坂東彦三郎の若菜姫	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	安政6年（1859）10月		○
47	43	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」三世沢村田之助の瀧夜叉姫	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）8月		○
48	富-22	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」三世市川市蔵の蛇丸	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）11月		○
49	富-23	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」十三世市川羽左衛門の天竺徳兵衛	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）11月		○
50	44	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」四世中村芝翫の日本左衛門	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）9月	○	
51	45	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」八世片岡仁左衛門の南郷力丸	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）12月	○	
52	富-12	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」河原崎権十郎の忠信利平	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）9月	○	
53	富-13	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」五世坂東彦三郎の狼ノ悪次郎	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）10月	○	
54	46	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」三世岩井粂三郎の弁天小僧菊之介	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）9月	○	
55	47	三代歌川豊国（国貞）	「豊国漫画図絵」三世沢村田之助の奴の小万	大判錦絵揃物	魚屋栄吉	万延1年（1860）9月	○	
56	58	豊原国周	五世尾上梅幸の伝兵衛、五世坂東彦三郎のおわさ、三世沢村田之助のおしゆん	大判錦絵三枚続	井筒屋	文久2年（1862）10月	○	
57	59	豊原国周	三世関三十郎の素太夫妻片もい、五世尾上梅幸の妹紅ざら、三世沢村田之助の継子姉懸ざら、二世中村福助の正木左近太郎	大判錦絵三枚続	万屋善太郎	慶應1年（1865）4月	○	
58	60	豊原国周	坂東村右衛門の鷺坂伴内、二世沢村訥升の早野かん平、十三世市村羽左衛門のこし元おかる	大判錦絵三枚続	辻岡屋文助	文久3年（1863）11月	○	
59	61	豊原国周	「花台俳優年代記」四世中村芝翫の佐野源左衛門常世	大判錦絵揃物	佐野屋富五郎	慶應1年（1865）12月	○	
60	62	豊原国周	「見立白浪八景 白髭の落雁」三世市川九蔵の因果小僧六之助	大判錦絵揃物	平野屋新蔵	慶應1年（1865）7月		○
61	63	豊原国周	「見立白浪八景 無縁寺の晩鐘」三世沢村田之助の湯灌場子僧吉三	大判錦絵揃物	平野屋新蔵	慶應1年（1865）7月		○
62	64	豊原国周	「はなしの花さかりの大よせ」五世坂東彦三郎の鈴川源十郎	大判錦絵揃物	平野屋新蔵	慶應3年（1867）3月		○
63	65	三代歌川豊国（国貞）	「東都三十六景内 深川八幡」十三世市村羽左衛門のおまつり佐七	大判錦絵揃物	近江屋久次郎	文久3年（1863）12月		○

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
64	66	三代歌川豊国（国貞）	「当檜看板揃」市川小文治の庄屋松兵衛、二世沢村訥升の足利三七郎春高	大判錦絵揃物	平野屋新蔵	元治1年（1864）3月		○
65	67	二代歌川豊国	五世瀬川菊之丞	大判錦絵揃物	越前屋喜兵衛	文政11-天保1年（1828-1830）頃		○
66	68	歌川国芳	坂東しうかの信田ノ森くづの葉狐、八世市川団十郎の阿部保名	大判錦絵二枚続	太田屋多吉	嘉永3年（1850）5月		○
67	69	落合芳幾	「真写月花之姿絵」 薪水　五世坂東彦三郎	大判錦絵揃物	丸屋徳造	慶應3年（1867）3月		○
68	70	落合芳幾	「真写月花之姿絵」訥升　二世沢村訥升	大判錦絵揃物	広岡屋幸助	慶應3年（1867）3月		○
69	71	豊原国周	「花競楽屋鏡　全」四世中村芝翫の袴垂保輔、四世市村家橘の源の頼光	大判錦絵（仕掛絵）	具足屋嘉兵衛	慶應1年（1865）12月	○	
70	72	豊原国周	七世河原崎権之助の千崎弥五郎、五世尾上菊五郎の早野勘平、大谷紫道の不破数右衛門	大判錦絵三枚続	伊勢屋利兵衛	明治3年（1870）8月	○	
71	73	豊原国周	五世坂東彦三郎の局岩藤、三世沢村田之助の中老尾上、五世尾上菊五郎の召仕おはつ	大判錦絵三枚続	大山豊次郎	明治4年（1871）2月	○	
72	74	豊原国周	四世中村芝翫の袴垂保輔、市川左団次の源の頼光、二世岩井紫若の美女丸	大判錦絵三枚続	小川半助	明治3年（1870）6月		○
73	富-24	豊原国周	二世河原崎国太郎の玉織姫、河原崎三升(七世河原崎権之助)の蓮生法、市川左団次の主馬判官	大判錦絵三枚続	綱島亀吉	明治4年（1871）6月		○
74	75	豊原国周	「勇肌磨腕揃」	大判錦絵三枚続	万屋孫兵衛	明治4年（1871）6月		○
75	76	豊原国周	七世河原崎権之助の道節、大谷紫道の荘助、五世尾上梅幸の刀治、六世坂東三津五郎のしくて	大判錦絵三枚続	蔦屋吉蔵	明治3年（1870）10月		○
76	77	豊原国周	「花競評判橘」四世市村家橘の新造胡蝶、わしの長吉	大判錦絵（仕掛絵）	具足屋嘉兵衛	慶應2年（1866）3月		○
77	78	豊原国周	「間口廿五間奥行卅間余　新富座本普請出来之図」	大判錦絵三枚続	長谷川其吉	明治11年（1878）1月		○
78	79	豊原国周	坂東家橘の小田春永、九世市川団十郎の億川家泰、八世岩井半四郎の天津乙女、市川左団次の武智光秀、五世尾上菊五郎の此下藤吉	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治11年（1878）6月		○
79	80	豊原国周	口上　嵐璃鶴改市川権十郎、九代目市川団十郎	大判錦絵二枚続	政田屋平吉	明治7年（1874）10月	○	
80	81	豊原国周	「音菊開花稀」五世尾上菊五郎の白菊丸・御所の五郎蔵・いかけ松・白井権八・鬼神のお松・弁天小僧菊之助・因果小僧六之助・お祭佐七・天竺徳兵衛・野晒悟助	大判錦絵三枚続	南馬道山彦	明治7年（1874）	○	
81	富-14	豊原国周	「連花席一大区繋」尾上梅幸（五世菊五郎）、市川左団次、四世中村芝翫、市川三升（九世団十郎）、岩井杜若（五世半四郎）	大判錦絵三枚続	不明	明治8年（1875）2月	○	
82	82	豊原国周	「見立十二時」戌　五世坂東薪水の仁木直則	大判錦絵揃物	政田屋平吉	明治7年（1874）2月	○	
83	83	豊原国周	「明治年間東日記」五世尾上菊五郎の轟坂五郎、市川子団次の人力引半六、尾上梅五郎、市川幸升の捕手	大判錦絵三枚続	具足屋嘉兵衛	明治8年（1875）6月	○	
84	84	豊原国周	「花競楽屋鏡　全」四世市村家橘のおはな、五世坂東彦三郎（薪水）の半七	大判錦絵（仕掛絵）	具足屋嘉兵衛	元治・慶應期（1864-68）頃		○
85	85	豊原国周	「月雪花顔触」五世尾上菊五郎の鳶の菊松、二世沢村訥升の芸者小菊、四世中村芝翫の白梅の駒	大判錦絵三枚続	万屋孫兵衛	明治6年（1873）1月		○
86	富-25	守川周重	八世岩井半四郎のおやま、四世中村芝翫の粟餅屋杵八、五世尾上菊五郎のうす蔵、中村寿三郎の植木や若松、瀬川路之丞の田舎娘お浜	大判錦絵三枚続	綱島亀吉	明治6年（1873）2月		○

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
87	86	豊原国周	「汐入堤の場」五世尾上菊五郎の寺西閑心実ハ白井弥市、二世河原崎国太郎の三うらやの小紫 実ハ助太夫娘八重梅	大判錦絵二枚続（仕掛絵）	具足屋嘉兵衛	明治6年（1873）9月		○
88	87	豊原国周	五世尾上菊五郎の髪結新三	大判錦絵	具足屋嘉兵衛	明治6年（1873）	○	
89	88	豊原国周	「俳優見立十二支　戌亥」四世中村芝翫の犬田小文吾、五世尾上菊五郎の岩見重太郎	大判錦絵揃物	版元未詳	明治2年（1869）2月	○	
90	89	豊原国周	五世尾上菊五郎のゆかんば吉三	大判錦絵揃物	具足屋嘉兵衛	明治2年（1869）7月	○	
91	90	豊原国周	五世尾上菊五郎の柴田勝家	大判錦絵揃物	具足屋嘉兵衛	明治2年（1869）5月	○	
92	91	豊原国周	「江戸市村贔屓達入」四世市村家橘の弁天小僧菊之助・きられ与三郎・因果小僧六之助・いがみの権太・牛若伝次	大判錦絵二枚続	鍵屋庄兵衛	元治1年（1864）2月	○	
93	92	豊原国周	五世尾上菊五郎の鋳かけ松	大判錦絵	若狭屋甚五郎	明治5年（1872）9月	○	
94	93	豊原国周	当世見立凧つくし	大判錦絵三枚続	伊勢屋藤吉	慶應1年（1865）11月	○	
95	94	豊原国周	三世市川九蔵の直助権兵衛、三世片岡我童の田宮伊右衛門、五世尾上菊五郎の矢頭与茂七、小仏小平・お岩の霊	大判錦絵三枚続（仕掛絵）	福田熊次郎	明治17年（1884）	○	
96	富-15	豊原国周	四世中村芝翫の重作、九世市川団十郎の日吉将軍高吉、中村福助の高吉の政所、片岡我童の太郎作、岩井松之助の賊の女お菊	大判錦絵三枚続	山村鉄次郎	明治17年（1884）9月29日	○	
97	95	豊原国周	五世尾上菊五郎の提婆の仁三、市川左団次の伊丹屋重兵衛	大判錦絵三枚続	倉田太助	明治16年（1883）8月	○	
98	96	豊原国周	坂東家橘のこんから幸治、五世尾上菊五郎の不動文治、四世尾上松助の中門照蔵、三世片岡我童の脊高清太	大判錦絵三枚続	山村鉄次郎	明治16年（1883）9月	○	
99	97	豊原国周／歌川国梅	五世尾上菊五郎の天竺徳兵衛	大判錦絵三枚続	松井栄吉	明治16年（1883）10月	○	
100	富-16	守川周重	「茨木」五世尾上菊五郎の綱母実は茨木童子、市川左団次の渡辺源治綱	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治16年（1883）	○	
101	富-26	豊原国周	九世市川団十郎の大黒屋総六、八世岩井半四郎のみやぎの、五世尾上菊五郎のしのぶ	大判錦絵三枚続	浅野栄蔵	明治13年（1880）1月		○
102	98	豊原国周	三世片岡我童の綱吉公、四世助高家高助の於さめの方	大判錦絵三枚続	中島松五郎	明治16年（1883）9月		○
103	99	豊原国周／川端玉章	四世助高家高助の乳人浅岡、二世沢村由次郎の幼君亀千代、四世沢村源平の白川千代松	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治17年（1884）6月		○
104	富-27	豊原国周	九世市川団十郎の団七九郎兵衛、市川左団次の一寸徳兵衛、二世尾上多賀之丞の徳兵衛女房お辰	大判錦絵三枚続	波多野常定	明治16年（1883）7月		○
105	富-35	豊原国周	「猿若壹都座初舞台亀遊太夫座敷場」沢村百之助の亀遊太夫、三世片岡我童の岩亀楼主人、三世関三十郎の隈本嘉太郎、二世坂東三津三の岩亀の亀蝶、二世市川権十郎の妻木市之丞	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治11年（1878）7月		○
106	100	豊原国周	「今様俳優写真鑑」五世尾上菊五郎の木村長門守	大判錦絵揃物	浅野栄蔵	明治14年（1881）1月		○
107	富-28	豊原国周	三世片岡我堂の中田小八郎、沢村百之介の遊女今紫	大判錦絵二枚続	福田熊次郎	明治12年（1879）2月		○
108	101	豊原国周	「楽屋二階影評判」四世中村芝翫の大膳	大判錦絵揃物	高沢房次郎	明治16年（1883）1月		○
109	102	豊原国周	「楽屋二階影評判」五世尾上菊五郎の久吉	大判錦絵揃物	高沢房次郎	明治16年（1883）1月		○
第３章　明治の写楽・豊原国周								
110	103	豊原周義	塩冶判官と大星由良之助	大判錦絵二枚続	福田熊次郎	明治11年（1878）11月	○	
111	104	豊原周義	「浄るり　積恋雪関扉」関守関兵衛実ハ大伴黒主、小町姫	大判錦絵二枚続（仕掛絵）	福田熊次郎	明治12年（1879）1月	○	
112	105	豊原国周	「忠臣蔵九段目」加古川本蔵、本蔵娘小なみ、本蔵女房戸名瀬	大判錦絵三枚続（仕掛絵）	福田熊次郎	明治12年（1879）1月		○

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
113	特別出品	三代歌川広重	古今東京名所　江戸橋三菱の荷蔵	中判錦絵揃物	辻岡文助	明治16年（1883）	◎	◎
114	106	豊原国周	皇国自慢初陽因雲閣	大判錦絵六枚組	福田保	明治17年（1884）12月		○
115	107	豊原国周	片岡我童の喜多八、四世中村芝翫の弥次郎兵衛、三世河原崎国太郎のごぜ	大判錦絵三枚続	秋山武右衛門	明治19年（1886）2月		○
116	111	豊原国周	「是ハ万代の談柄 音聞浅間幻燈画 真景五枚」五世尾上菊五郎の道中師初蔵	大判錦絵三枚続	松木平吉	明治21年（1888）9月		○
117	108	豊原国周	「扇冨士蓬萊曾我」 三世高砂屋福助の曾我の満江、三世坂東竹松の曾我一満丸、五世尾上菊五郎の鬼王新左衛門、尾上きくの曾我箱王丸、坂東家橘の梶原源太景季	大判錦絵三枚続	小森宗次郎	明治22年（1889）1月		○
118	112	豊原国周	「彦山権現誓の仇討」五世尾上菊五郎の一味斎娘おその、三世中村福助の毛谷村六助	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治22年（1889）1月		○
119	113	豊原国周	五世尾上菊五郎の矜羯羅童子、九世市川団十郎の不動明王・文覚上人、市川左団次の制叱迦童子	大判錦絵三枚続	秋山武右衛門	明治22年（1889）5月		○
120	富-29	三世歌川国貞	「千歳座新狂言 七人男」三世中村福助の道灌山諏訪蔵、五世尾上菊五郎の上野山鐘四郎、五世市川小団次の飛鳥山碑文蔵、九世市川団十郎の山王山星五郎、市川左団次の愛宕山段九郎、四世中村芝翫の御殿山浦右衛門、市川権十郎の待乳山聖太郎	大判錦絵三枚続	堤吉兵衛	明治22年（1889）5月		○
121	富-30	三世歌川国貞	「天神記車引」四世中村芝翫の松王丸、九世市川団十郎の梅王丸、五世尾上菊五郎の桜丸、市川左団次の時平公	大判錦絵三枚続	堤吉兵衛	明治22年（1889）5月		○
122	富-31	三代歌川国貞	四世中村芝翫の松王丸、九世市川団十郎の梅王丸、五世尾上菊五郎の桜丸、三世大谷馬十の杉王丸、市川左団次の時平	大判錦絵三枚続	石島八重	明治22年（1889）5月		○
123	109	豊原国周	五世尾上菊五郎のおかる、九世市川団十郎の大石由良之助、市川左団次の寺岡平右衛門	大判錦絵三枚続	清水文蔵	明治22年（1889）3月		○
124	110	豊原国周	「忠臣蔵復讐の場」九世市川団十郎の大石内蔵之助、四世中村芝翫の吉良上野之助、中村鶴松の大石主税	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治22年（1889）3月		○
125	114	三代歌川国貞	「横島田鹿子振袖 浜松屋之場」九世市川団十郎の日本駄右衛門、尾上松助の浜松屋幸之助、五世尾上菊五郎の弁天小僧菊之助、市川左団次の南郷力丸	大判錦絵三枚続	綱島亀吉	明治22年（1889）6月	○	
126	115	豊原国周	「極楽寺山門の場」五世尾上菊五郎の白浪五人男の内弁天小僧菊之助	大判錦絵三枚続	佐々木豊吉	明治22年（1889）6月	○	
127	116	豊原国周	市川左団次の外記と五世尾上菊五郎の仁木弾正	大判錦絵三枚続	石嶋ヤエ	明治22年（1889）9月	○	
128	富-17	楊洲周延	四世中村芝翫の宗清、四世中村福助の常盤御前、乙若丸、今若丸	大判錦絵三枚続	武川卯之吉	明治29年（1896）	○	
129	117	豊原国周	「梅幸十種之内 一ツ家」尾上栄之助の娘浅茅、五世尾上菊五郎の老婆茨、四世岩井松之助の児花若 実ハ観音化身	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治23年（1890）4月	○	
130	118	落合芳幾	「梅幸十種之内 一ツ家」四世岩井松之助の児花若 実ハ観音化身、五世尾上菊五郎の老婆茨、尾上栄之助の娘浅茅	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治23年（1890）4月	○	
131	119	豊原国周	「浄るり 戻橋恋の角文字」市川左団次の渡辺源次綱、五世尾上菊五郎の扇折小百合 実ハ愛宕山ノ悪鬼、尾上幸蔵の渡辺良等左源太、五世市川新蔵の右源太	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治23年（1890）11月	○	
132	120	豊原国周	「鼠小紋春着雛形」五世尾上菊五郎の易者星影梅山 実ハ稲葉幸蔵、尾上きくの蜆売三吉	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治24年（1891）1月	○	

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
133	121	豊原国周	「菅原道真天拝山祈之図」五世尾上菊五郎の菅原道真	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治24 年（1891）	○	
134	富-18	三代歌川国貞（香朝棲）	「水滸伝　景陽崗虎退治」市川左団次の武松、三世中村寿三郎の猟人、二世市川米蔵の猟師	大判錦絵三枚続	武川卯之吉	明治24 年（1891）	○	
135	122	豊原国周	「怪談牡丹燈籠」五世尾上栄三郎の飯嶋娘つゆ、五世尾上菊五郎の同下女よね、五世尾上菊五郎の栗橋無宿の伴蔵	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治25年（1892）7月	○	
136	富-19	三代歌川国貞(香朝棲)	「怪談牡丹燈籠」五世尾上菊五郎の関口屋伴蔵、二世坂東秀調	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治25年（1892）	○	
137	123	豊原国周	「大磯禱龍館之図」五世尾上菊五郎	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治24年（1891）5月		○
138	富-36	豊原国周	「五大力実録　浪華土産噂曽根崎」五世尾上菊五郎の八右衛門、五世尾上栄三郎の菊野、四世尾上松助の山口屋女房	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治25年（1892）8月		○
139	124	豊原国周	「与話情浮名横櫛」四世尾上松助の蝙蝠安、五世尾上菊五郎の斬られ与三	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治25年（1892）8月		○
140	富-32	三代歌川国貞(香朝棲)	「歌舞伎座五月狂言」五世尾上菊五郎の曾我十郎、市川左団次の曾我五郎、九世市川団十郎の藤原朝臣祐経 九世市川団十郎の武蔵坊弁慶、市川左団次の富樫左衛門、三世中村福助の九郎判官義経 市川左団次の弥太五郎源七、三世中村福助の白木屋娘おくま、五世尾上菊五郎の髪結新三	大判錦絵三枚続	井上吉次郎	明治26年（1893）		○
141	125	豊原国周	「曾我十番斬」中村福助の化粧坂の虎、五世尾上菊五郎の曾我十郎、市川左団次の曾我五郎	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）4月		○
142	富-33	三代歌川国貞(香朝棲)	「歌舞妓座新きよう言 白子屋之場」五世市川寿美蔵の後家おつね、四世中村福助の娘おくま、二世尾上菊之助の手代忠七、五世尾上菊五郎の髪結新三	大判錦絵三枚続	片田長治郎	明治26年（1893）4月		○
143	126	豊原国周	「後開榛名の梅ヶ香」市川左団次の恒川半三郎、五世尾上菊五郎のみそろ木幸吉	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）7月		○
144	127	豊原国周	「後開榛名の梅ヶ香　三遊亭円朝口述増補の新作　常陸土浦宿 破牢の場」四世尾上松助の妙義山無宿白蔵、五世尾上菊五郎の安中草三郎、五世尾上栄三郎の娘おうた	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）		○
145	128	豊原国周	「後開榛名の梅ヶ香」四世市川米蔵の娘おりよ、市川左団次の尾崎直右衛門、五世尾上菊五郎の安中草三郎	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）		○
146	129	豊原国周	「後開榛名の梅ヶ香」市川左団次の恒川半三郎、五世尾上菊五郎の安中草三郎	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）		○
147	富-34	三代歌川国貞(香朝棲)	「市村座開場浄瑠璃狂言」四世中村福助の女異人、二世尾上丑之助のシャリコーベ、五世尾上菊五郎の英国人、五世尾上菊五郎のシャリコーベ、五世尾上栄三郎の女異人	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治26年（1893）		○
148	130	豊原国周	尾上丑之助の禿みどり、四世中村福助の浦里、五世尾上菊五郎の時次郎	大判錦絵三枚続	三宅半四郎	明治27年（1894）1月	○	
149	131	豊原国周	「夢結蝶鳥追」尾上菊之助の源之丞、片岡市蔵の梶井主膳、五世尾上菊五郎の長五郎、尾上栄三郎のおこよ、尾上蟹十郎の喜六	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治27年（1894）1月	○	
150	132	豊原国周	「歌舞伎座中幕廿四考」五世尾上菊五郎の八重垣姫	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	
151	133	豊原国周	「新富座春狂言 鎌倉三代記」四世中村福助の時姫、五世尾上菊五郎の三浦之助、四世中村芝翫の高綱	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等	版元	制作年	展示期間	
							前期	後期
152	135	豊原国周	「加賀見山再岩藤」五世尾上菊五郎の岩藤の霊、四世中村福助の二代尾上	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	
153	134	豊原国周	「加賀見山再岩藤」五世尾上菊五郎の岩藤の霊、四世中村福助の二代尾上	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	
154	136	豊原国周	「加賀見山再岩藤」五世尾上菊五郎の岩藤の霊	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	
155	137	豊原国周	「浅野川多賀館の場」五世尾上菊五郎の鳥居又助	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）	○	
156	138	豊原国周	「松竹梅湯島掛額」坂東秀調の下女お杉、中村福助の八百屋於七、尾上菊五郎の土左衛門伝吉、尾上菊之助の小性吉三	大判錦絵三枚続	福田熊次郎	明治28年（1895）3月	○	
157	48	三代歌川豊国（国貞）	五世松本幸四郎の仁木弾正左衛門直則	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）7月		○
158	49	三代歌川豊国（国貞）	三世中村歌右衛門の五斗兵衛盛次	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）7月		○
159	50	三代歌川豊国（国貞）	四世中村歌右衛門の熊谷直実	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	万延1年（1860）9月		○
160	51	三代歌川豊国（国貞）	五世市川団十郎の歌舞妓十八番之内 景清	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）10月		○
161	52	三代歌川豊国（国貞）	四世市川小団次の天日坊法策	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	万延1年（1860）3月		○
162	富-1	三代歌川豊国（国貞）	市川鰕十郎の浅間左衛門照連	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）7月		○
163	富-2	三代歌川豊国（国貞）	三世沢村宗十郎の梅の由兵衛	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）7月		○
164	富-3	三代歌川豊国（国貞）	守田勘彌の齋藤太郎左衛門	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	万延1年（1860）3月		○
165	富-4	三代歌川豊国（国貞）	二世荻野伊三郎の音川勝元	大判錦絵揃物	恵比寿屋庄七	文久3年（1863）7月		○
166	富-5	三代歌川豊国（国貞）	五世坂東彦三郎の仁木弾正	大判錦絵	不明	安政5年（1858）9月	○	
167	53	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」四世市川小団次の和尚吉三	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政7年（1860）1月	○	
168	54	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」河原崎権十郎の於坊吉三	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政7年（1860）1月	○	
169	55	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」三世岩井粂三郎のおじやう吉三	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政7年（1860）1月	○	
170	56	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」四世尾上菊五郎の七綾太夫	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政6年（1859）9月	○	
171	57	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」三世沢村田之助の新造名古曾	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政6年（1859）9月	○	
172	富-6	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」尾上梅幸の源頼光朝臣	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政6年（1859）9月	○	
173	富-7	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」中村福助の平太郎良門	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	安政6年（1859）10月	○	
174	富-8	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」河原崎権十郎の多賀ノ大領	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	万延1年（1860）3月	○	
175	富-9	三代歌川豊国（国貞）	「今様押絵鏡」三世岩井粂三郎の愛妾於柳の方	大判錦絵揃物	藤岡屋慶次郎	万延1年（1860）3月	○	
176	139	豊原国周	「梅幸百種」	大判錦絵揃物	福田熊次郎	明治26-27年（1893-94）	頁替え	

通番	図録No.	名称	通番	図録No.	名称		
174-1	139	梅素薫「梅幸百種　目録」	174-2	139	天竺徳兵衛、四世尾上松助の宗観	○	
174-3	139	白井権八、九世市川団十郎の幡随長兵衛	174-4	139	仁木弾正、九世市川団十郎の荒獅子男之助	○	
174-5	139	おはつ	174-6	139	弁天小僧菊之助、三世関三十郎の日本駄右衛門	○	
174-7	139	死神、四世尾上松助の鳶の者五郎次	174-8	139	御所の五郎蔵、四世中村芝翫の星影土右衛門	○	
174-9	139	おまつり佐七、三世沢村田之助のげいしや小糸	174-10	139	局岩藤、骸骨	○	
174-11	139	犬塚信乃、九世市川団十郎の犬飼現八	174-12	139	きつねたゝのふ(狐忠信)、六世坂東三津五郎の静御前	○	
174-13	139	清玄、四世中村福助の折琴姫	174-14	139	扇折早百合、市川左団次の渡辺綱	○	
174-15	139	延命院、八世岩井半四郎のおころ	174-16	139	ほととぎす、四世市川小団次のゆりの方	○	
174-17	139	師直、中村宗十郎の塩冶判官	174-18	139	お菊、四世市川小団治の鉄山	○	
174-19	139	明石の島蔵、市川左団次の松島千太	174-20	139	腰元お軽、九世市川団十郎の大星由良之助	○	
174-21	139	奴凧、二世尾上丑之助の舞鶴屋小伝三、尾上きくの出入の忰	174-22	139	お米の霊、二世尾上菊之助の新三郎	○	
174-23	139	塩原太助、三遊亭圓朝	174-24	139	墨染、九世市川団十郎の関兵衛	○	
174-25	139	柴田勝家、四世中村芝翫の市川八左衛門	174-26	139	菅丞相、九世市川団十郎の覚寿	○	
174-27	139	一ツ家の老婆、五世尾上栄三郎の賤女浅茅	174-28	139	さくら丸、九世市川団十郎の梅王丸	○	
174-29	139	土蜘、市川左団次の保正	174-30	139	斎藤実盛、市川左団次の瀬尾	○	
174-31	139	鳥山秋作、四世中村芝翫の萩しの	174-32	139	張良、九世市川団十郎の江雪公		○
174-33	139	安達元右衛門、五世坂東彦三郎の早瀬伊織	174-34	139	牛若丸、四世市川小団次のむさし坊弁慶		○
174-35	139	松王丸、九世市川団十郎の春藤玄蕃	174-36	139	黒手組助六、九世市川団十郎の鳥居新左衛門		○
174-37	139	夕霧、二世中村宗十郎の藤屋伊左衛門	174-38	139	公暁禅師、四世中村福助の右大臣実朝公		○
174-39	139	鷲の長吉、河原崎国太郎の東国屋娘およし	174-40	139	清水一学、四世尾上松助の牧山丈左衛門		○
174-41	139	赤垣源蔵、五世坂東彦三郎の塩山与左衛門	174-42	139	しのふ、八世岩井半四郎の宮城野		○

通番	図録No.	作者名等	名称	判型・素材等		版元	制作年	展示期間	
								前期	後期
174-43	139	大工六三、八世岩井半四郎のおその		174-44	139	郡幸内、市川左団次の葛山弾右衛門			○
174-45	139	英人スペンサー、二世尾上丑之助の遠見のスペンサー		174-46	139	新造小てふ、五世坂東彦三郎の深見重三郎			○
174-47	139	野さらし語助、五世坂東彦三郎の浮世戸平		174-48	139	髪結新三、四世中村福助の白子やおこま			○
174-49	139	将門、九世市川団十郎の暫		174-50	139	源蔵、九世市川団十郎の松王丸			○
174-51	139	四ツ谷、四世中村芝翫の神谷伊右衛門		174-52	139	下男小助、中村仲太郎の医師道易			○
174-53	139	日吉丸、九世市川団十郎の蜂すか小六		174-54	139	光秀、坂東家橘の森蘭丸			○
174-55	139	袴たれ、四世中村芝翫の平井保昌		174-56	139	め組の辰五郎、四世中村芝翫の四ツ車大八			○
174-57	139	かが鳶梅吉、坂東家橘の鳶の者巳の吉		174-58	139	花井於梅、四世尾上松助の箱屋峯吉			○
174-59	139	判官義経、九世市川団十郎の武蔵坊							○

第４章　歌川国貞の肉筆画帖

177	140	三代歌川豊国（国貞）	「芝居町 新吉原 風俗絵鑑」				江戸時代後期　19 世紀	◎	
通番	図録No.	名称		通番	図録No.	名称			
175-1	140	市村座　表掛		175-2	140	幕間		◎	◎
175-3	140	車引		175-4	140	舞台裏		◎	◎
175-5	140	浅間嶽		175-6	140	芝居茶屋		◎	◎
175-7	140	仲之町の桜		175-8	140	格子先		◎	◎
175-9	140	表座敷		175-10	140	部屋		◎	◎
175-11	140	引け四ツ		175-12	140	廓の雨		◎	◎